

- 問1 2014年12月の統計に基づく、有権者数が最も少ない鳥取県第1区と、最も有権者数が多い選挙区を比較した場合、その「一票の価値」の差は最大で約何倍に達していましたか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 約2.1倍                      2. 約2.9倍                      3. 約1.2倍                      4. 約3.4倍
- 問2 日本の衆議院議員選挙では、一つの選挙区から一人の当選者を選ぶ仕組みと、政党の得票数に応じて議席を配分する仕組みが組み合わされています。このうち、後者の「比例代表制」を導入する主な目的として最も適切な説明はどれか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 死票を減らし、政党の得票率を議席数に反映させることで少数意見を国政に反映させやすくするため                      2. 選挙運動の期間を短縮し、公費による選挙費用の負担を最小限に抑えるため                      3. 選挙区ごとの有権者数の差をなくし、一票の格差を技術的に完全解消するため                      4. 特定の地域から選出される代表者の実績や政策に対する得票数のみで議席を作るため
- 問3 日本の選挙制度の一つである比例代表制の仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 各政党の得票数に応じて議席を配分することで、死票を減らし、少数政党でも議席を獲得しやすくする制度。                      2. 一つの選挙区から一人の代表者のみを選出することで、特定の政党が安定した過半数を確保しやすくする制度。                      3. 候補者の得票数に関わらず、あらかじめ決められた地域ごとに均等な議席数を各政党へ割り振る制度。                      4. 政党への投票を認めず、候補者個人の業績や政策に対する得票数のみで議席を決定する制度。
- 問4 日本の選挙制度において、日本国憲法第15条で「これを侵してはならない」と明記されている、誰がどの候補者や政党に投票したかを他人が知ることができないように、無記名で投票を行う原則を何といいますか。 (2019年 鳥根県公立入試 類似)
1. 直接選挙                      2. 普通選挙                      3. 平等選挙                      4. 秘密投票
- 問5 比例代表制の選挙において、定数が6、各政党の得票数が、A党：19,392票、B党：12,096票、C党：39,936票、D党：24,960票であったとします。ドント式を用いて議席を配分した場合、各政党が獲得する議席数の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. A党：1議席、B党：1議席、C党：2議席、D党：2議席                      2. A党：0議席、B党：0議席、C党：4議席、D党：2議席                      3. A党：1議席、B党：0議席、C党：3議席、D党：2議席                      4. A党：2議席、B党：0議席、C党：2議席、D党：2議席
- 問6 2015年に発表された新聞記事において、選挙権年齢をこれまでの20歳以上から18歳以上に引き下げる法改正が報じられました。この改正が行われた法律の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 国民投票法                      2. 政治資金規正法                      3. 地方自治法                      4. 公職選挙法
- 問7 日本の選挙制度において、小選挙区制と比較した際の比例代表制（ドント方式等による配分）の大きな特徴や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
1. 候補者の個人名による投票を重視することで、政党の力よりも人物本位の政治を実現する。                      2. 得票率と議席率の乖離を抑えることで、少数意見を議会に反映させやすくし、死票を減らす。                      3. 選挙区の面積を小さく設定することで、候補者と有権者の距離を縮め、地域密着型の政治を行う。                      4. 最多得票者1人のみを選出することで、特定の政党が安定した過半数の議席を確保しやすくする。
- 問8 選挙の結果、一つの政党だけでは議会の過半数に達しない場合に、複数の政党が協力して内閣を組織し、共同で政権を担うことがあります。この状況において、政権に参加している複数の政党全体を指す名称として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 公党                      2. 与党                      3. 多党制                      4. 野党
- 問9 1928年の総選挙では有権者の割合が全人口の約20%であったのに対し、1946年の総選挙では約49%へと急増しています。この有権者の割合が大幅に増加した理由として、1945年に行われた選挙法改正の内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 満25歳以上の男子という制限は維持されたが、被選挙権の年齢制限が大幅に緩和されたため                      2. 直接選挙制が導入されたことで、義務教育を修了したすべての国民に投票資格が与えられたため                      3. 直接国税を納めるという要件が完全に廃止され、すべての成年男子に選挙権が与えられたため                      4. 選挙権を得られる年齢が満20歳以上に引き下げられ、新たに女性の参政権が認められたため
- 問10 選挙制度には、死票の発生しやすさや政権の安定性において異なる特性があります。比例代表制を小選挙区制と比較した際、比例代表制の課題（デメリット）として指摘される点はどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 選挙区が狭くなるため、候補者と有権者の距離が近くなりすぎて地縁が重視される。                      2. 死票が非常に多く発生するため、特定の政党を支持する有権者の意見が無視されやすい。                      3. 多くの小政党が議席を獲得して乱立しやすいため、連立政権などで政権が不安定になりやすい。                      4. 二大政党制を促進する傾向があるため、有権者の選択肢が狭まってしまふ。
- 問11 選挙区によって議員1人あたりの有権者数が大きく異なる場合、一票の価値にはどのような影響が生じるか。有権者数が多い選挙区（都市部など）と少ない選挙区（地方など）を比較した説明として適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 有権者数の違いに関わらず、一票の価値は常に平等である                      2. 有権者数が多い選挙区の一票の価値は、少ない選挙区よりも軽くなる                      3. 有権者数が多い選挙区では無効票が増え、少ない選挙区では棄権が増える                      4. 有権者数が多い選挙区の一票の価値は、少ない選挙区よりも重くなる
- 問12 日本の選挙制度の変遷において、1920年には全人口の5.5%に過ぎなかった有権者の割合が、2017年には80%を超える水準まで上昇しました。このように有権者比率が大きく上昇した歴史的な背景と、現在の状況について述べた文として最も適切なものを選択してください。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 性別による制限は維持されているものの、選挙権年齢が段階的に引き下げられたことで、高齢者から若者まで幅広い層が投票できるようになったこと。                      2. 若年層の人口が急増したことで選挙権を持つ18歳以上の人口が大幅に増えたため、全人口に占める有権者の割合が戦前よりも高まっていること。                      3. かつて存在した直接国税の納入額による制限や性別による制限が撤廃されたことに加え、現在は少子高齢化の影響で人口に占める高齢層の割合が高まっていること。                      4. 義務投票制が導入されたことで、18歳以上のすべての国民が必ず有権者として登録されるようになり、有権者比率が飛躍的に上昇したこと。
- 問13 2015年の公職選挙法改正によって実現した、現在の日本の選挙制度について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 満18歳以上の日本国民であれば、衆議院議員に立候補するための被選挙権を持つ。                      2. 満18歳以上の日本国民であれば、衆議院議員や参議院議員を選出するための選挙権を持つ。                      3. 満18歳以上の日本国民であれば、参議院議員に立候補するための被選挙権を持つ。                      4. 満20歳以上の日本国民であれば、衆議院議員と参議院議員の両方の選挙権を持つ。